

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成25年6月6日 (2013.6.6)

【公開番号】特開2011-230810(P2011-230810A)

【公開日】平成23年11月17日 (2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2010-104359(P2010-104359)

【国際特許分類】

B 6 5 B 1/02 (2006.01)

B 6 5 B 9/10 (2006.01)

B 6 5 B 1/06 (2006.01)

B 6 5 B 39/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 1/02

B 6 5 B 9/10

B 6 5 B 1/06

B 6 5 B 39/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月18日 (2013.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

上流部から下流部へと下方に物品を搬送する搬送ユニットを備え、
前記搬送ユニットは、
物品を下方に搬送する上流側の直筒と、
前記上流側の直筒を出た物品の排出あるいは保持を切り替えるために開閉する、開閉機構
と、
を含み、
前記開閉機構は前記上流側の直筒の下流側に配置され、前記上流側の直筒の下流端と前
記開閉機構の上流端との間に間隙を設け、
前記開閉機構を出た物品を下方に搬送する下流側の直筒が、前記開閉機構の下流側に配
置されており、
前記下流側の直筒の内径は、前記上流側の直筒の内径よりも大きい、
 ことを特徴とする、縦型製袋包装機。

【請求項 2】

前記開閉機構は、アイリス絞り機構からなる、
 ことを特徴とする、請求項 1 記載の縦型製袋包装機。

【請求項 3】

前記下流側の直筒は、複数の孔部を有する、
 ことを特徴とする、請求項 1 記載の縦型製袋包装機。

【請求項 4】

前記開閉機構は、下流に延在する複数の整流羽根を有し、
 前記整流羽根は、前記下流側の直筒に対して、前記開閉機構の閉状態から開動作時に直筒中央側から外側に向けて移動し、前記開閉機構の開状態から閉動作時に外側から直筒中

央側に向けて移動する、

ことを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の縦型製袋包装機。

【請求項 5】

前記上流側の直筒の上流側に配置される別の開閉機構、をさらに備え、

前記開閉機構および前記別の開閉機構は、開動作および閉動作を同時に行う、
ことを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の縦型製袋包装機。

【請求項 6】

前記上流側の直筒は、内径の大きさを変化する可変筒からなる、
ことを特徴とする、

請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の縦型製袋包装機。